

- 問1 中国の製鉄所の多くが内陸部に建設されてきた理由について、原材料の供給の観点から説明した文章として最も適切なものはどれですか。
(2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|
| 1. 鉄鉱石や石炭などの主原料の産地に近接して工場を建設することで、輸送費を抑えるため | 2. 沿岸部での塩害を避けるため、乾燥した内陸部での生産が不可欠だったため | 3. 海外からの原料輸入を容易にするため、大型船が接岸できる港湾設備を優先したため | 4. 製品の主な輸出先である近隣諸国へのアクセスを改善するため、国境付近を優先したため |
|---|---------------------------------------|---|---|
- 問2 ASEAN（東南アジア諸国連合）が近年、域内の経済発展を促すために進めている具体的な政策やその状況について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 全ての加盟国で単一の共通通貨を導入し、各国独自の金融政策を廃止してヨーロッパのような完全な経済統合を目指している。 | 2. 加盟国を工業国のみに限定し、農業や一次産品の輸出を中心とする国々の加盟を認めないことで、高度な経済成長を維持している。 | 3. 環太平洋地域の国々と連携し、アジアだけでなく北米や南米を含む広大な自由貿易圏を構築することのみを活動の目的としている。 | 4. ASEAN経済共同体（AEC）を発足させ、域内の関税を原則的に撤廃することで、物やサービス、投資の自由化を推進している。 |
|--|--|--|---|
- 問3 東南アジアに位置するある国は、世界最大の島しょ国であり、熱帯の気候を活かしたあぶらやしのプランテーション農業が非常に盛んです。また、統計資料において国民の約86.7%がイスラム教徒、約10.7%がキリスト教徒という宗教構成を示すこの国はどこですか。
(2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|---------|-------|
| 1. インドネシア | 2. マレーシア | 3. ブラジル | 4. タイ |
|-----------|----------|---------|-------|
- 問4 中国において、1970年代末から始まった経済改革の一環として、外国の資本や技術を導入するためにシェンチェン（深圳）などの沿海部に設置された地域を何と呼びますか。
(2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|----------|
| 1. 経済特区 | 2. 租界 | 3. 自治区 | 4. 特別行政区 |
|---------|-------|--------|----------|
- 問5 南アジアに位置するインドでは、宗教が国民の生活習慣や文化に大きな影響を与えています。この国で最も信者数が多く、牛を神聖な動物として崇めるために牛肉を食べないといった食習慣の背景となっている宗教を答えなさい。
(2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. キリスト教 | 4. 仏教 |
|----------|-----------|----------|-------|
- 問6 ベトナム、タイ、インドネシア、マレーシアといった東南アジア諸国では、2000年から2018年にかけて進出する日本企業の数が大幅に増加しました。このような動きが活発化した背景として、日本企業の目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。
(2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 若くて豊富な労働力による生産拠点の確保や、経済成長に伴う現地市場の拡大を期待したため | 2. ASEAN諸国での関税が撤廃されたため、日本国内の全工場を閉鎖して海外移転を完了させるため | 3. 原材料のすべてを日本から輸入し、加工後に全量を日本へ逆輸入する体制を維持するため | 4. 現地の伝統的な農業技術を導入し、日本の製造業を第1次産業へと転換するため |
|---|--|---|---|
- 問7 中国の農業は、気候条件などの違いによって地域ごとに異なる特色を持っています。中国における地域と農業形態の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。
(2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 東北・華北では牧畜、華中・華南では稲作、内陸の西部では畑作が盛んである。 | 2. 東北・華北では畑作、華中・華南では牧畜、内陸の西部では稲作が盛んである。 | 3. 東北・華北では小麦などの畑作、華中・華南では稲作、内陸の西部では牧畜が盛んである。 | 4. 東北・華北では稲作、華中・華南では小麦などの畑作、内陸の西部では牧畜が盛んである。 |
|---|---|--|--|
- 問8 トルコの食文化とその背景について説明した文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。
(2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冷涼な気候を活かしたライ麦の栽培が盛んであり、主食としての黒パンとともに、牛肉を主とした加工食品が輸出の大部分を占めている。 | 2. 仏教の教えに基づき肉食を避ける習慣が定着しており、大豆製品や米を中心とした穀物料理が伝統的な食生活の基盤となっている。 | 3. 歴史的にコーヒーとの関わりが深いですが、共和国時代以降は自国での生産奨励もあり紅茶の消費が拡大し、羊肉やトマトを使ったスープなどが日常的に親しまれている。 | 4. 旧宗主国であるイギリスの文化を強く受けて紅茶が普及したが、主食はキャッサバやトウモロコシであり、沿岸部では魚介類の消費が極端に多い。 |
|---|--|--|---|
- 問9 近年のインドの産業と貿易の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。
(2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豊富な労働力と技術力を背景にダイヤモンドなどの宝石加工業や石油化学工業が発展し、それらが主要な輸出品となっている。 | 2. 東南アジア諸国連合（ASEAN）の中核として、熱帯の気候を生かしたパーム油の生産と輸出において世界最大のシェアを誇っている。 | 3. 世界最大級の鉄鉱石の産出量を背景に、未加工の鉱物資源を日本や中国へ輸出することが最大の貿易利益となっている。 | 4. 広大な国土で栽培される綿花が輸出額の大部分を占めており、現在も原料の供給を中心としたモノカルチャー経済が続いている。 |
|--|---|---|---|
- 問10 世界の主要な農産物生産国に関する統計において、米の生産量が中国、インド、インドネシア、バングラデシュに次いで世界シェアの5.5パーセントを占めて第5位であり、かつコーヒー豆の生産量がブラジルに次いで世界シェアの18.1パーセントを占め、世界第2位となっている国はどこですか。
(2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| 1. タイ | 2. ベトナム | 3. コロンビア | 4. エチオピア |
|-------|---------|----------|----------|
- 問11 中国の主要都市における一月の平均気温と降水量の特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。
(2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチョウ（広州）の方が高い | 2. 北京の年間降水量は、南方の上海よりも多く、熱帯モンスーンの影響を強く受けている | 3. 年間の降水量は、沿岸部に位置する上海よりも内陸部の都市の方が全体的に多い | 4. 一月の平均気温は、緯度に関わらず大陸の東側よりも西側の内陸部の方が高い |
|---|--|---|--|
- 問12 西アジアに位置するサウジアラビアの地理的・経済的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 東南アジアの島国であり、熱帯雨林の気候を活かした天然ゴムの生産が世界一である。 | 2. アフリカ大陸の北部に位置し、ナイル川流域を中心に古代文明が栄えた歴史を持つ。 | 3. 広大な砂漠が広がるアラビア半島に位置し、豊富な石油資源を背景に世界有数の産油国となっている。 | 4. 南アジアのインド亜大陸に位置し、ヒマラヤ山脈からの豊かな水資源を利用した稲作が盛んである。 |
|--|---|---|--|
- 問13 1980年代初頭と2010年代前半のタイやマレーシアの輸出統計を比較すると、輸出総額が著しく増加していることがわかります。この期間に生じた輸出品目の構成の変化について述べたものとして、最も適切な記述はどれですか。
(2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 輸出の中心が工業製品から農産物へと回帰し、食料輸出に依存するモノカルチャー経済となった。 | 2. 米や天然ゴムなどの農産物から、自動車や電子機器などの工業製品へと中心が移った。 | 3. 経済発展に伴う国内需要の拡大により、輸出総額は1980年代と比較して大幅に減少した。 | 4. 原油や錫などの鉱産物の輸出に特化し、特定の天然資源への依存度がさらに高まった。 |
|---|--|---|--|